

6月市議会での不信任を求める決議を受けて

本日、私の不信任を求める決議が提出され、本会議で賛成者少数により否決されました。

決議では、住民自治をないがしろにするとか、喫緊の課題である新型コロナワクチンの接種について、私があたかも何もしていないかのように批判し、辞任を要求していました。

しかし、現在65歳以上の方、約10万5千人に対して9万5千件を超える予約を受け付けております。今後、接種能力の拡充などにより接種が加速し、希望する市民の方への接種は更に進んでいくものと認識しています。

コロナ禍の今、市の業務を停滞させるわけにはいきませんので、市民のことを第一に考え、これまで以上に全力で市政運営に努めてまいります。

令和3年6月11日 市川市長 村越 祐民